

インドネシア語における限定表現 hanya (cuma, cuman) の

意味的特徴に関する考察

Utari Novella (名古屋大学大学院)

要旨

インドネシア語における限定表現はいくつかあり、その中の一つに限定副詞 hanya がある。口語では hanya だけでなく cuma, cuman という形が見られる。本研究では、インドネシア語における限定表現 hanya (cuma, cuman) の構造と意味的特徴について考察を行った。結果として、副詞としての hanya は、「マイナス及びプラス評価を含む質的/量的な基準を満たさない」という意味、あるいは「強調性」を表すことが分かった。また、副詞だけでなく hanya は等位接続詞の対比接続詞と強調接続詞の機能を持っており、その中で限定の意味を含む接続詞と逆接の意味を含む接続詞に分類できることが明らかになった。

キーワード： インドネシア語 限定表現 意味 副詞 接続詞

1. はじめに

本稿では、インドネシア語において限定の意味を表す hanya (cuma, cuman) の意味・用法を分析することを目的とする。インドネシア語の実際のデータ¹を参照しながら、hanya, cuma, cuman が用いられる際の文脈の特徴についても明らかにする。構造から見ると、限定副詞 hanya は、名詞・名詞句、人称代名詞、動詞・動詞句、前置詞句、数量詞、形容詞、副詞の前に出現できる。hanya は英語に訳すと、only, just に対応する。標準語 (Formal Indonesian) では、公式の場面「出版や放送メディアなど」で使用される。一方、日常会話 (Colloquial Indonesian) では hanya の代わりに cuma がよく使われている。また、cuma は若者の日常会話によく見られる。そして cuman は cuma と同様に口語に現れ、公式の場面に現れない。但し、cuman は若者だけでなく社会の中でよく使用される。Sneddon (83: 2006) は、ジャカルタ地方の口語²の研究において、hanya、

¹ Southeast Asian Languages (SEALang) Library Indonesian Lexicography (以下、SLI コーパスとする) を利用する。SLI コーパスは 2010 年に作成されたものである。このコーパスは、様々なインターネットの記事を収録している。さらに、SLI コーパスに加えて、インドネシア語の雑誌、新聞、小説、インドネシア語の教科書をデータとして利用する。

² インドネシアでは地方語が 748 個あって、cuman という語はジャカルタ地方の口語から由来した。James (82:2006) ではこれらの語が Colloquial Jakartan Indonesia (CJI) と呼ばれている。ジャカルタはインドネシアの首都であり同国最大都市だ。人口 1000 万人を超えるインドネシア共和国の首都ジャカルタ。東南アジア屈指の大都市であり、この国の政治、経済の中心地である。この大都市にはインドネシア各地からの人口流入も激しく、多民族都市でもある。インドネシアは各島や地域によって民族も言葉も異なっているが、ジャカルタでは国語である「インドネシア語」が日常一般的に使われている。ジャカルタは多民族都市だが、もともと 15 世紀からはベタウィという民族がいた。もともとのジャカルタ民族はベタウィ民族ということになる。ベタウィ民族に使われていた言語はマレー語であった。Wikipedia の Rumpun Bahasa Austronesia 「オーストロネシアの語族」によると、インドネシア語はもともとオーストロネシア語族で、マレー系諸言語の共通語として生まれた。インドネシア語はマレー語からできた言語であるため、Hudson (2000), Hopper (1986) など、たくさんの言語学者はインドネシア語とマレー語を同じ言語と見なしている。一方、Alisjahbana (35:1957) は、インドネシア語はマレー語の延長と主張している。マレー語がインドネシアの共通語となった歴史的背景としては 15 世紀から 16 世紀初頭にかけてマレー半島南岸に繁栄したマラッカ王国の影響が挙げられる。マラッカ王国からイスラムが広がり、その言語が商業用語としても広く用いられたからである。マレーシアの国語はバハサ・マレーシ

cuma、cuman の使用頻度の調査を行っており、日常会話では cuma と cuman の使用頻度が高く、公式の場面では hanya の使用頻度が高いと指摘している。以下に hanya、cuma、cuman のそれぞれの例文を挙げる。

- (1) Komplek pemakaman itu hanya seluas lapangan bola.

墓地 あの 限定副詞 広さ サッカー場

「あの墓地は、サッカー場の広さしかない。」(Formal Indonesian)

(Hanum, 2014:246)

- (2) Cuma dia yang tidak hadir. (Formal/Colloquial Indonesian)

限定副詞 彼/彼女 関係代名詞 ~ない 出席する

「彼/彼女だけ出席しない。」

- (3) Gua cuman reporter, tapi paling nggak gua

私 限定副詞 レポーター しかし 一番 ~ない 私

ngerti soal internet. (Colloquial Indonesian)

分かる こと インターネット

「私はレポーターでしかないが、インターネットくらいは分かる。」

(Sneddon, 83:2006)

(1)~(3)では hanya、cuma、cuman はお互いに置き換えることができる。但し、それぞれの文が使われる場面は異なる。例(1)は hanya を使うと、公式の場面で用いられる。例(2)の場合は cuma を使うと、カジュアルな会話に多く使うが、公式の場面でもたまに見られる。また、例(3)の cuman は砕けた会話にしか使わない。例(3)の文では、使われている単語がほとんどインドネシアの標準語ではなくジャカルタの地方語なので、cuman の出現が自然である。

構造から見ると cuma と cuman は構造的に限定する語、句または節に前接し、前接される品詞も hanya と同様である。つまり、cuma と cuman は hanya の口語ということだけが違う。そして、意味的な特徴の面から見れば、hanya は、限定を表す副詞、強調を表す副詞、逆接を表す接続詞の用法がある。cuma と cuman は hanya と同じ意味で用いる。そのため本稿では、標準語の hanya に注目するが、日常会話では cuma と cuman の使用が多いため、分析に当たっては cuma と cuman の例文も入れる。Hanya がどのような限定の意味を表すのか、接続詞としてどのような意味で用いられるのかを明らかにする。以下に、それぞれの hanya の用法を示す。(用例中の下線は筆者によるものである。)

アといい、マレー語を基礎とするものだが、マレーシア語とインドネシア語は 90% 共通する。インドネシア語が作られて以来、ベタウィ民族に使われている言語がインドネシア語の標準語に混ざって、今の多くのジャカルタの人々に使用されている。ジャカルタは中心であるため、他の地方の人々に影響を与え、ジャカルタの人々の話し方と言葉はよく真似されている。cuman という語はもともとジャカルタのマレー語から由来すると考えられるが、現在の日常会話では、ジャカルタだけでなく他の地方の人々も使っている。

- (4) Obat itu hanya menghambat pertumbuhan penyakit.

薬 その 限定副詞 防止する 発生 病気

「その薬は病気の発生を防止するだけだ。」

(Alwi, 2003:204)

- (5) Pesta diperkirakan 30 orang, tetapi yang datang hanya 10 orang.

参加者 予想される 30 人 接続詞 関係代名詞 来る 限定副詞 10 人

「参加者が 30 人予想されたが、来た人は 10 人しかいない。」

- (6) Yang dapat menghibur hatinya hanya kamu.

関係代名詞 できる なぐさめる 心 3.sg 限定副詞 あなた

「あなたこそあの人の心を慰められる。」

(Alwi, 1998: 198)

- (7) Untuk menyelesaikan pekerjaan ini hanya butuh 1 jam.

ために 終わらせる 仕事 この 限定副詞 要る 1 時間

「この仕事を終わらせるためには一時間だけ必要だ」

本稿では、(4)~(7)のような限定表現の用法を分析対象として扱う。これまで hanya (cuma, cuman)の研究は、文中における位置の研究で止まっており、文中での意味についてはほとんど研究対象として扱われておらず、特にそれが用いられる際の意味の相違点の研究は見当たらない。本稿では、限定表現 hanya (cuma, cuman) を考察する際、日本語においてそれに相当する限定を表すとりたて助詞の研究やタイ語の限定表現の研究も参考にする。世界の諸言語は、言語体系が異なっている、ある程度の類似性が観察される。インドネシア語と日本語は語族が異なるからこそ、それぞれの体系から推測される相関関係が、従来なかった新たな発想を導く可能性がある。

2. 先行研究

ここではまず、インドネシア語の限定表現 hanya (cuma, cuman) についての先行論を概観していく。

インドネシア語の限定表現に関する構造・意味の研究は管見の限り、多くはない。hanya についての研究は、インドネシア語の文献における一章、数ページに留まっている。しかし、まったく研究がないわけではない。Alwi (1988)と Chaer (2009) は、インドネシア語の限定表現を分類している。Alwi(1988)は、saja, hanya, sekadar に、また Chaer (2009) は、hanya, cuma, saja, semata-mata³ に分類している。本稿では、研究対象としては hanya (cuma, cuman)のみ扱う。

Alwi(1998)は、現代の規範文法『標準インドネシア語文法』において、限定表現 hanya は限

³ saja, sekadar, semata-mata は今後の分析課題としたい。

定副詞 (*adverbia limitatif*) に分類され、限定に関する意味を記述すると指摘している。Chaer(2009)は、文中での *hanya* の構造位置に関して、名詞、動詞、形容詞または他の品詞の左側に現れると指摘している。また *hanya* の意味特徴に関しては、Chaer は限定の意味しか述べていないが、どのような限定の意味を表すかの説明はなされていない。Chaer(2009)はまた、*hanya* の用法について限定副詞以外に、文中で接続詞として機能していると述べている。Chaer(2009)では、*hanya* は対比の等位接続詞と強調の等位接続詞に分類されている。等位接続詞 (*coordinating conjunction*) は範列的に2つ以上の文の要素を関連させるものと定義されている。

また、インドネシア語の限定を表す副詞については Sneddon (1996) (2010) の研究もある。Sneddon(1996)は、限定を表す副詞を表すために *Limiters* という用語を使用する。*Limiters* は焦点になる節の部分を限定することを表す。*Limiters* に含まれる副詞には、*hanya*、*cuma*、*saja*、*semata-mata* が挙げられている。Sneddon (2010) は、*hanya* (*cuma, cuman*) は限定される要素に前接し、意味の観点からみれば英語の *just, only* に類似していると指摘している。美野(2001)は、*hanya* は限定する語・句・文の前に前接し、「単に～」という意味で、*hanya* には会話体に *cuma* があり、*percuma* 「無駄な」・*cuma-cuma* 「無駄な、無料」のような様々な用法があると指摘している。

以下では他言語の限定表現に関わる先行研究を概観する。

タイ語の限定表現の意味・用法に注目するアッカラチャイ(2012)は、タイ語の限定表現には *khêe*、*phian*、*têe*、*chapho'* の4つがあり、文中での位置は統語的に名詞句や動詞句の前に置かれ、後続の要素をとりたてることになると述べている。アッカラチャイ(2012)はそれぞれのタイ語の限定表現の位置と意味を説明した。位置から見ると、*hanya* は同じように限定される要素の前に現れる。さらに、意味の面から見ると *khêe* と *phian* の意味の一部は限定表現 *hanya* に相当すると考えられる。アッカラチャイは、対象となる数量・事柄が話し手の捉える基準を満たさない段階にあることを表すという観点から *khêe* と *phian* の意味的特徴について考察した。

インドネシア語の限定を表す副詞は日本語の限定を表すとりたて助詞に相当すると考えられる。ただし、日本語では、インドネシア語の *limitative adverb* と違い、副詞の分類ではなく、助詞のカテゴリーに入れられる。日本語の限定を表すとりたて助詞についての研究は多く見られ、沼田(1990)、仁田(2009)などがある。

沼田(1990)は、とりたて詞は文の中にある要素をとりたてるとの意味だと述べ、「だけ」「しか」「ばかり」を挙げている。次に、仁田(2009)は、限定を表すとりたてとは、文のある要素をとりたて、その要素が唯一のものであることを示し、同類のほかのものを排除するという限定の意味を表すことであると述べていて、「だけ」「しか」「ばかり」「こそ」「のみ」を挙げている。仁田(2009)と沼田(1992)の定義は、同様のことを言っている。話し手の暗示する気持ちを含んで、文の中にある出来事を表す要素をとりたてて、同類の他の要素を排除する。とりたてる要素を示す助詞をとりたて助詞と言う。

以上、先行研究を概観した。しかし限定表現 *hanya* (*cuma, cuman*) の意味の点から見ると、Alwi(1988)、Chaer(2009)と Sneddon(1996)が指摘した意味・用法以外にもまだ触られていない意味があると考えられる。また、接続詞としての限定表現 *hanya* の意味特徴の研究も見当たらない。さらに、インドネシア語と日本語を比べると、日本語の限定を表すとりたて助詞のほうが詳しく研究されている。インドネシア語の限定表現の研究は少なく、内容も不十分である。一方、

日本語のとりたて助詞の研究は多く見られ、多くの論が展開されている。それぞれの定義が違っていても、接点はあるだろうと思われる。そのため、今までの限定を表す副詞の研究をさらに進めるために、沼田(1992,2009)と仁田(2009)に述べられた日本語のとりたて助詞の定義に基づいて考察する。

3. hanya の意味・用法

『インドネシア語大辞典』(1988)では、hanya の意味が5つに分かれている。それは、cuma (しか～ない)、kecuali (除外)、tetapi (しかし)、tidak lebih dari (それ以上ない)、saja (だけ)である。この中からいくつかの意味が一つの意味にまとめられる可能性があり、詳細に限定の意味を分析できると考えられる。hanya は限定副詞として一般的に限定の意味という観点から見ると、ある文の要素を限定し、対照的な他の要素を排除するという意味を表す。文中で限定される要素は主語名詞句、述語句、目的語名詞句、時間句、前置詞が焦点になり得る。他の限定副詞に比べると、hanya の特徴は、対象となる要素(数量・事柄)が話し手のとらえる基準を満たさない場面が多いことだと考えられる。但し、話し手の捉える基準を超える予想外(プラス評価)の場面もある。ここでは、hanya の限定表現の意味的特徴について考察したい。

3.1.1 満たさない

ここでいう「満たさない」の意味は、さらに2つに分類することができる。対象となる事柄が同様に基準を満たさないととらえられる「質的に満たさない」という意味と、対象となる数量が話し手の捉える基準を満たさない段階にある「量的に満たさない」という意味である。以下でこの2点について順に検討していく。

3.1.1.1 質的に満たさない

hanya (cuma, cuman)は対象となる事柄について、話し手の捉える基準を満たさない段階に置かれている場合に用いる。

(8) Saya hanya makan roti, tapi dia makan nasi.

私 限定副詞 食べる パンしかし 彼/彼女 食べる ご飯

「私はパンだけしか食べないが、彼/彼女はご飯を食べる。」

(作例)

(8)では、話し手は、対象となる事柄「食べ物」について、話し手の捉える基準を質的に満たさない段階ととらえているため、述語句「パンを食べること」を hanya で限定している。話し手は自分が食べている物と相手が食べているものを対照し、満足していないという意味を含意していると推察できる。話し手の捉える基準ではご飯または他の食べ物を食べたいが、パンしか食べないので、「パンを食べる」ことは質的に基準を満たさない段階にあるということが述べられている。

(9) Raia lihat cuma sweater -nya yang ber- warna

人名 見る 限定副詞 セーター -3sg 所有 関係代名詞 接頭辞 色

abu-abu gelap, celana jins, dan kaki yang hanya
 灰色 暗い ズボン ジーンズ と 足 関係代名詞 限定副詞
 memakai kaus kaki hijau tanpa sepatu
 履く 靴下 緑 なし 靴

「ライヤは彼/彼女の濃いグレーのセーター、ジーンズと靴なしの緑靴下だけを履いて
 いる足しか見ていない。」

(AOL 121)

(9)では、文中に *cuma* と *hanya* の2つの限定副詞がある。この文では *cuma* が目的語名詞句を限定するのに対して、*hanya* は目的語名詞句の中にある連体修飾述語句を限定している。いずれも、話し手の捉える基準を質的に満たさない段階にあると推察できる。前者では、話し手が対象となる事柄「彼/彼女の濃いグレーのセーター、ジーンズと靴なしの緑靴下だけを履いている足」に対して話し手の基準を満たさないと捉えている。つまり *cuma* は「セーター、ジーンズ、緑靴下を履いている足」だけを見ているという意味に言える。それらの3つの事柄は、他の人にとっては十分かもしれないが、話し手にとっては十分ではない。話し手は彼/彼女がもっと良いものを身に付けていることを期待している。一方、後者では、*hanya* がより狭い範囲の事柄「靴なしの緑靴下だけを履いている」を限定しているが、これも、話し手の捉える基準を質的に満たしていないと考えられる。話し手にとって理想的な基準として、靴下だけでなく靴を履くべきであるが、基準を満たさないため、*hanya* で表している。*hanya* と *cuma* はいずれにも基準を質的に満たさないという意味を表しており、また *hanya* と *cuma* の文中での出現位置を置き換えられる。

(10) Makanan ini hanya murah.
 食べ物 この 限定副詞 安い
 「この食べ物は安いだけだ。」

(SEALANG)

(11) Kenapa kamu marah? Saya cuma ber- kelakar.
 なぜ あなた 怒る 私 限定副詞 接頭辞 冗談
 「なぜあなたは怒るの？ 私はただ冗談を言っているだけだ。」

(10)では、対象となる事柄は述語形容詞 *murah* 「安い」である。話し手は食べ物の味について満足していないと推察できる。話し手の捉えている基準では、食べ物は安いだけでなく、美味しくくて量が多いと期待しているが、実際に食べると美味しくなく、量も少ないし、ただ値段が安いだけだ。つまり対象となる事柄が基準を満たさない段階にあることを表している。また、(11)では、*cuma* が述語動詞 *berkelakar* 「冗談を言う」を限定する。対象となる事柄は基準を満たさない段階にあるが、(10)と違って、基準を満たさなくてもいい事柄なので、相手の態度に対して残念な気持ちを表していると考えられる。話し手の基準からすれば、「冗談を言う」という事柄だけで相手は怒るべきではない。「冗談を言う」以外に「殴る」「叩く」などをしなければ、「怒る原因」に対する話し手の基準は満たされないで、怒るのはおかしいと話し手は考えている。

- (12) Gua cuman reporter, tapi paling nggak gua
私 限定副詞・口語 レポーター しかし 一番 否定語 私
ngerti soal internet. (再掲)
分かる こと インターネット
「私はレポーターでしかないが、インターネットのことは分かる。」

(12)では、口語の限定副詞 cuman を使っており、他の単語もジャカルタ地方の日常会話の単語を使用している。意味としては限定副詞 hanya、cuma と変わらず、話し手の捉えている基準を満たさないことを表している。cuman は述語名詞 reporter 「レポーター」を限定し、「レポーター」という仕事が基準を満たさない段階にあると捉えていると考えられる。基準として、インターネットのことがよく分かる人は普通 IT 関係の人または仕事でインターネットをよく使う人だと考えられるが、話し手はレポーターであるだけで、仕事でインターネットはあまり使わないので、インターネットのことが詳しく分かるはずがないが、実際にはインターネットに詳しい。つまり、話し手の仕事は質的に基準を満たしていないが、インターネットが理解できるということが述べられている。

3.1.1.2 量的に満たさない

hanya (cuma, cuman)は、文中の要素を限定し、対象となる数量が話し手の捉える基準を満たさない段階にあること、或いは少ないということを示す場合に用いられる。

- (13) Rani hanya makan satu buah apel, tetapi Asti makan dua buah.
人名 限定副詞 食べる 1 個 りんご しかし 人名 食べる 2 個
「ラニはりんごを1個しか食べないが、アスティは2個食べた。」

(13)では、話し手は対象となる数量「食べるりんごの量・個数」について、satu buah 「1 個」という数量が話し手の捉える基準を満たさない段階にあるため、「少ない/十分ではない」ということが表されている。この場合、後続の文脈に示されているように Asti makan dua buah 「アスティは2個食べた」ということが、話し手によって1つの外的な基準としてとらえていると考えられる。

- (14) Aku hanya meminjam uang Azima tiga puluh dolar.
私 限定副詞 借りる お金 人名 30 ドル
「私は30ドルしかアジマのお金を借りていない。」

(BTLA, 2014:219)

- (15) Mereka ber- libur di Bali cuma lima hari.
彼ら 接頭辞 休み 前置詞 バリ 限定副詞 5日間
「彼らはバリで5日間しか休んでいない/旅行しない。」

(14)では、*hanya* は述語句に前接するが「30ドル」という金額を限定している。話し手は対象となる数量「30ドル」について、「借りられる金額」の基準を満たしていないととらえている。もともと「30ドル」という量は話し手にとって少ない。「30ドル」以上借りられると望ましいが、何かの理由で借りられない。そのため、満足していないという気持ちを表すために、限定副詞 *hanya* を使用している。さらに、(15)では、*cuma* は日数を限定している。話し手は対象となる日数「5日間」が少なく、それ以上バりに旅行したいと考えられる。ゆえに、「5日間」という数量は話し手の捉える基準を満たしていないと推測できる。

(16) Untuk menyelesaikan pekerjaan ini hanya butuh satu jam.

ために 終わらせる 仕事 この 限定副詞 要る 1時間

「この仕事を終わらせるために一時間しか要らない」

(17) Dia berdiri hanya lima meter dari tempat saya duduk.

彼/彼女 立つ 限定副詞 5メートル から 場所 私 座る

「彼/彼女は5メートルしか私が座っているところから離れていないところに立っている。」

(16)では、対象となる数量「必要な時間」について、*satu jam* 「一時間」という数量が話し手のとらえる基準を満たさないため、「少ない」ということが表されている。時間が「少ない」ことは話し手にとっていいことかもしれないが、相手の態度に対して不快感がある。つまり、最初は「仕事を終わらせるための時間」が長くかかると思ったのに、逆に一時間だけで終わらせることができるのはなぜなのかという気持ちを話し手は持っている。また、(17)では、話し手は対象となる数量「話し手との距離」について、*lima meter* 「5メートル」という数量が話し手の基準を満たさない段階にあるため、「近い」ということを示している。話し手が座っているところから、相手がそんなに近くに立っているとは思わなかったが、実際距離が5メートルしかない。話し手の捉える基準では、相手はもっと遠くに立っているはずなのに、5メートルは近過ぎると考えていると推測できる。

以上、質的あるいは量的に基準を満たさないという意味を表す *hanya* は、実際のデータを見ると、マイナス評価を表すことが多い。話し手の捉える基準を満たさないため、残念な気持ちを表し、または相手の態度に対して満足していない気持ちや、不快感などを表している。

3.1.1.3 プラス評価を含む基準を満たさない状態

この *hanya* (*cuma*, *cuman*)の意味は、3.1.1.1 節と 3.1.1.2 節の *hanya* のニュアンスと異なると考えられる。文中の要素を限定し、対照的な他の要素を排除するが、限定される要素は話し手にとって唯一の事柄であり、話し手の捉える基準を満たしていなくても最適性に関する評価を含むと考えられる。「最適性」を表す *hanya* の文脈上の特徴は、主語を限定する場合が多く、プラス評価が認められる。この *hanya* の意味は、日本語の訳を見ると、限定とりたて助詞「こそ」と一部類似していると考えられる。仁田(2009)は、「こそ」による典型的なものは「ある事柄に関して、

もっとも相応しいもの、もっとも適切なものは何か」という問題が話し手の念頭にあり、その「相応しいもの、適切なもの」と話し手が考えるものを、他のものを排除して提示するのに用いられると述べている。以下で例文を考察する。

(18) Cuma kamu yang bisa menghibur dia.
限定副詞 あなた 関係代名詞 できる 慰める 彼/彼女
「あなたこそ彼/彼女を慰められる。」

(19) Hanya beliau yang cocok menjadi pemimpin.
限定副詞 彼/彼女 関係代名詞 相応しい なる リーダー
「彼/彼女こそリーダーになることが相応しい。」

(18)では、cuma は対象になる要素 kamu「あなた」を限定している、事柄「あなた」について、「彼/彼女を慰められる人は誰か」という問題が話し手の念頭にあり、他の人と比較した上で「あなた」がもっとも最適だと話し手は主張している。(19)でも、「リーダーになるのに相応しい人」の中でもっとも相応しい人は「彼/彼女」であるという話し手の考えを述べている。いずれの文でも hanya (cuma)はプラスの意味を表している。

要するに、hanya/cuma/cuman は日本語のとりたて助詞に似ていて、hanya/cuma/cuman の中核的な意味は、「あるものを他の何かから区別してとりたてること」であるように考えられる。そうした hanya/cuma/cuman は、「話し手の捉える基準を満たさないこと」「マイナス評価」を表す文中に現れる場合もある (3.1.1.1 と 3.1.1.2) し、「プラス評価」を表す文中に現れる場合もある (3.1.1.3)。

3.1.2 接続詞として機能している hanya

ここでは、接続詞として機能している hanya の観点から分析する。Alwi(1998)は接続詞 (konjungtor/conjunction) というのは 2 つの統語的単位を結び付ける語のことであり、単語と単語、句と句或いは節と節を結び付けると述べている。Alwi はインドネシア語の接続詞を等位接続詞 (coordinating conjunction)、相関接続詞 (correlation conjunction)、従属接続詞 (subordinating conjunction)、文の間の接続詞 (between sentence conjunction) に分類している。接続詞 hanya は等位接続詞 (coordinating conjunction) に分類している。但し、cuma、cuman が接続詞になり得るかどうかは説明がなされていないが、副詞としては構造と意味が hanya と同じであるため、接続詞としても使用可能であると考えられる。以下で例文を考察する。

(20) Rumah itu besar dan bagus, hanya halaman-nya sempit.
家 あの 大きい と きれい 接続詞 庭 3.sg 狭い
「あの家は大きくてきれいだが、庭は狭い。」

(Chaer, 2011:149)

(21) Kue ini enak rasanya, hanya kurang manis.

お菓子 この おいしい 味 接続詞 足りない 甘い
 「このお菓子はおいしいが、あまり甘くない。」

(Chaer, 2011:89)

- (22) Kamu boleh merokok, hanya jangan di ruang ini.
 あなた ~してもいいタバコを吸う、接続詞 だめ で 部屋 この。
 「あなたはタバコを吸ってもよいが、この部屋ではだめです。」

例(20)(21)の構造は、日本語に訳すと、接続詞「しかし」に相当すると考えられる。hanyaは対比等位接続詞として機能しており、特徴は、前に出てくる文がポジティブな意味を持っていて、後ろの文は前の文に比べると否定的な意味を持っている。つまり、節の間の対比を表す。(20)の場合は、hanyaが前者と後者の接続詞として機能していて、後者は前者に対してポジティブではない意味である。それは、「家が大きくてきれい」に対して「しかし庭は狭い」という関係になっている。さらに、接続詞の働き以外に hanya は「*halamannya sempit* (庭が狭い)」という状態も限定している。家が大きくてきれいだが、話し手は「庭」がそんなに狭いと思っていなかったので、話し手の捉える基準を満たしていないところがあり、あまり満足していないという意味が含まれている。また、(21)も同様に、後者の文「あまり甘くない」は前者の文「このお菓子は美味しい」に対して否定的な意味を表している。前者で、話し手は *enak* 「おいしい」と言っているが、後者の文を加えると100パーセント「おいしい」とは言えないだろう。そのため、話し手は「お菓子の味」について基準を満たしていない段階にあると述べている。一方、(22)では、接続詞 hanya は限定的の意味を含まないと考えられる。前の節に出てくる動作 *merokok* 「タバコを吸う」は、後ろの節に対して対比を表せず、ただタバコを吸う場所だけを否定して「この部屋ではだめ」と言っている。以上の例は、いずれも hanya を *cuma*、*cuman* に置き換えることができると考えられる。

- (23) Sakit-nya tidak parah, hanya batuk-batuk dan masuk angin.
 病気 3sg 所有 ~ない ひどい 接続詞 咳を出る と 入る 風邪
 「彼/彼女の病気はひどくない、ただ咳が出て風邪をひいただけだ。」

(Chaer, 90:2009)

- (24) Gaji -nya sebulan tidak banyak, hanya delapan ratus ribu rupiah.
 給料 3sg 所有 一ヶ月 ~ない 多い 接続詞 8 百 千 ルピア
 「彼/彼女の一ヶ月の給料は多くない、ただ800000ルピアしかない。」

(Chaer, 2011:90)

例(23)と(24)では、hanyaは強調等位接続詞として機能している。構造的な特徴は2番目の節の頭に現れ、最初の節の事柄に対して「多くない」、「そのようにひどくない」など、意味を強調するために使用される。最初の節の事柄には否定語 *bukan*、*tidak* が共起することが多い。(23)では、最初の節は否定語 *tidak* が共起し、2番目の節の頭に現れる hanya は、最初の節の事柄に対

して情報を加えて、「病気がそんなにひどくない」という意味を強調している。話し手にとって「咳が出て、風邪をひいた」という病状は「病気がひどい」という基準を満たしていない。そのため、2つ節の間の強調と限定が hanya によって表されていると考えられる。また、(24)では、話し手は最初の節の「一ヶ月の給料が多くない」ことを強調したいため、2番目の節に情報を加えて、「800000ルピア」という金額では少ないと述べている。この場合は、給料の額が話し手の捉える基準を満たしていない。

それに対して、節の間に現れる hanya は不自然な場合があり、接続詞としても認められない。以下に例文を挙げる。

- (25) #Tidak makan malam di luar, hanya makan di rumah. lit
 ~ない 食べる 夜 で 外 食べる で 家

(25)では接続詞として hanya を使うと不自然になる。前に出てくる文が否定的な意味を持っていて、後ろの文がポジティブな意味を持つため、対比接続詞ではあり得ない。強調接続詞としても hanya の出現は不可能である。hanya の代わりに tetapi 「しかし」という接続詞の方が自然である。なぜかという、対比している動作「食べる」は同じなので、hanya の出現は対比接続詞としても、強調接続詞としても不自然である。

- (25') Tidak makan malam di luar, tetapi makan di rumah.
 ~ない 食べる 夜 で 外 食べる で 家
 「外で晩ご飯を食べないが、家で食べる。」

- (25'') Tidak makan malam di luar, hanya bertemu teman.
 ~ない 食べる 夜 で 外 限定副詞 会う 友達
 「外でご飯を食べないで、ただ友達に会うだけだ。」

なお、(25')の場面では、「食べる場所」の選択肢が「外で」或いは「家で」の2つあり、その中で話し手が選んだところは「家」であるため、「外」が排除される。もし限定副詞 hanya を使うとすれば、例(25'')のように食べる場所の問題ではなく、「外」でやることをとりたてる必要がある。例えば「外」でやることが「友達に会う」ことだけで「ご飯を食べる」ことはしない、という限定を表すなら hanya が使える。そのため、(25)の文では、接続詞としても限定副詞としても hanya の出現が許容されない。

以上、接続詞として機能している hanya は対比等位接続詞と強調等位接続詞に分けられる。構造的、意味的にそれぞれ特徴があり、文中で hanya は cuma、cuman に置き換えられる。また、接続詞として機能していても hanya は質的或いは量的に基準を満たさないという意味を含んでいると考えられる。

3.1.3 強調性 (他の限定副詞と結合)

インドネシア語の限定の副詞 hanya は単独副詞の一種である。限定副詞同士は組み合わせ副詞

を構成することができる。ここでは、限定副詞 *saja*⁴の組み合わせを分析する。連続して結合できる副詞には「*hanya saja*」があり、連続しない結合は「*hanya~saja*」になる。副詞の位置によって意味が変わる場合もある。

- (26) *Kamu hanya membuang-buang waktu saja.*
 あなた 限定副詞 無駄にする 時間 限定副詞
 「あなたは時間を無駄にするだけだ。」

(26)では、副詞 *hanya* と *saja* の両方が現れている。いずれも限定を表し、限定される部分はその副詞の間に現れる。意味から見ると、Alwi (2003) では、*hanya* と *saja* の用法が違っても、同時に現れると文の意味を強調すると述べられている。実際は、*hanya* と *saja* が同時に現れると、*saja* の意味が強くなる。この現象は日常会話によく見られる。

- (27) *Kamu boleh merokok, hanya saja jangan di ruang ini.*
 あなた ~してもいいタバコを吸う、接続詞 限定副詞 だめ で 部屋 この。
 「あなたはタバコを吸ってもよいが、この部屋はだめです。」

(27)では、*hanya* と *saja* が連続して現れている。しかし(26)と違って、逆接の意味で用いられていると考えられる。*hanya* と *saja* が連続して現れると、今度は *hanya* の意味が強くなる。*hanya* の意味用法は「逆」であり、日本語では「しかし」に相当する。文中で *hanya saja* は複文だけに現れる。

4. 結論

本稿では、インドネシア語における限定表現 *hanya* (*cuma, cuman*) を対象として意味的な特徴に関する分析を行い、用いられる文脈で特徴的なものについて明らかにした。その分析結果は次のようにまとめられる。

<i>hanya(cuma, cuman)</i> の意味	意味的な特徴	統語的な特徴	特徴的な文脈
限定の意味「基準を満たさない」	質的に満たさない	<i>hanya</i> +「主語名詞句、述語句、目的語名詞句、時間句、前置詞」	● 対象となる事柄について、話し手の捉える基準を満たしていない段階。

⁴ インドネシア語の他の限定副詞。*saja* の意味用法については、ウタリ ノベラの修士論文(2015年)を参照のこと。

			<ul style="list-style-type: none"> ● 残念な気持ち、不満足、不快感を含意している。 ● cuma,cuman に置き換えられる。
	量的に満たさない	hanya+数量	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象となる数量が話し手の捉える基準を満たしていない段階 ● 残念な気持ち、不満足、不快感を含意している。 ● cuma,cuman に置き換えられる。
	プラス評価を含む基準を満たさない状態	hanya+主語	<ul style="list-style-type: none"> ● 限定される要素は話し手にとって唯一の適切な事柄である。 ● プラス評価が認められる。 ● cuma,cuman に置き換えられる
限定の意味を含む「接続詞機能」	等位接続詞「対比接続詞」	節、hanya+節	<ul style="list-style-type: none"> ● 前の文はポジティブな意味、後ろの文はと否定的な意味を持っていて対比を表す。 ● cuma,cuman に置き換えられる。
	等位接続詞「強調接続詞」	節「否定文」、hanya+節	<ul style="list-style-type: none"> ● 2番目の節の頭に現れ、最初の節の事柄に対し

			<p>て「多くない、そんなにひどくない」など意味を強調する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● cuma, cuman に置き換えられる。
限定の意味を含まない「接続詞機能」	逆接 (例 22)	節、hanya + 節「否定文」	<ul style="list-style-type: none"> ● 限定の意味を含まず、「逆接」の意味だけを表す。 ● cuma, cuman に置き換えられる。
強調性「他の接続詞と結合」	限定の強調	節「否定文」、hanya + 節 + saja	<ul style="list-style-type: none"> ● 限定副詞 saja の意味を強調する。 ● cuma, cuman に置き換えられる。
	逆接の強調	節、hanya + saja + 節「否定文」	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続詞 hanya の意味を強調する。 ● 限定の意味を含まず、「逆接」の意味を表す。 ● cuma, cuman に置き換えられる。

本稿では、インドネシア語における限定表現 hanya (cuma, cuman) の意味的特徴について考察を行った。インドネシア語大辞典にある hanya の使い分けがどのような意味を含意しているかを明らかにした。インドネシア語大辞典にある hanya の意味「しか」「除外」「それ以上ない」は「質的/量的な基準を満たさない」限定の意味に入れられる。また、「しかし」は等位接続詞の対比の意味に分類され、「だけ」は hanya, saja の組み合わせの限定の強調に入れられると思われる。今後、インドネシア語の他の限定表現 semata-mata, sekadar, saja との共通点と相違点を明らかにして、比較対照を行う予定である。

また、本稿において分析した用例数はまだ少ないため、さらに用例数を増やして分析すること

が必要であると思われる。そして、インドネシア語の他の限定表現の意味・用法を明らかにして、日本語の限定を表すとりたて助詞の「だけ」「しか」「ばかり」との比較対照分析を行うことを今後の課題としたい。

参考文献

- 澤田美恵子 (2007) 『現代日本語におけるとりたて助詞の研究』くろしお出版
- 中島平三、瀬田幸人(2009) 『オックスフォード言語学辞典』朝倉書店
- 仁田義雄 (2009) 『現代の日本語文法第9部とりたて』くろしお出版
- 沼田善子 (1992) 『「も」「だけ」「さえ」など—とりたて—』くろしお出版
- 沼田善子 (2009) 『現代日本語とりたて詞の研究』ひつじ書房
- 美野 (2001) 『ゼロから学ぶ入門インドネシア語』近代文芸社
- アックラチャイ、モンコンチャイ(2012) 「タイ語の限定表現 khêe, phianj, t̄eɛ, chaphóʔの統語的特徴及び意味的特徴に関する考察：名詞句の前に位置する場合」東京外国語大学大学院総合国際学研究所・言語・地域文化研究 (Language, area and culture studies) no.21 p.61 -85
- Alijshabana, S. Takdir (1957) *Dari Perjuangan dan Pertumbuhan Bahasa Indonesia*. Jakarta: Pustaka Rakjat.
- Alwi, Hasan. Dkk (1998) *Tata Bahasa Baku Bahasa Indonesia Edisi Ketiga*. Jakarta: Balai Pustaka.
- Alwi, Hasan. Dkk (2003) *Tata Bahasa Baku Bahasa Indonesia Edisi Keenam*. Jakarta: Balai Pustaka.
- Alwi, Hasan (1988) *Kamus Besar Bahasa Indonesia*. Jakarta: Balai Pustaka.
- Byrnes, Christopher (2003) *Teach Yourself Indonesian*. London: Hodder Education.
- Chaer, Abdul (2008) *Morfologi Bahasa Indonesia*. Jakarta: Rineka Cipta.
- Chaer, Abdul (2009) *Sintaksis Bahasa Indonesia*. Jakarta: Rineka Cipta.
- Chaer, Abdul (2011) *Tata Bahasa Praktis Bahasa Indonesia*. Jakarta: Rineka Cipta.
- Chaer, Abdul (2011) *Ragam Bahasa Ilmiah*. Jakarta: Rineka Cipta.
- Hanum, Salsabiela (2014) *Bulan Terbelah di Langit*. Jakarta: Gramedia.
- Hopper, Paul J (1985) *Some Function of Classifiers in Malay*, In Craig ed. *Noun Classes and Categorization*, pp. 309-325. Amsterdam: John Benjamins.
- Hudson, Grover (2000) *Essential Introductory Linguistics*. Malden, Massachusetts: Blackwell
- Kridalaksana, Harimurti (2001) *Kamus Linguistik*. Jakarta: Gramedia.
- Poerwadarminta (1961) *Kamus Umum Bahasa Indonesia*. Jakarta: Balai Pustaka
- Sneddon, James Neil (2010) *Indonesian a Comprehensive Grammar 2nd Edition*. New York: Routledge.
- Sneddon, J. N. (2000) *Understanding Indonesian Grammar*, Australia: Allen & Unwin
- Sneddon, J. N. (2006) *Colloquial Jakartan Indonesian*, Australia: Pacific Linguistics
- Sneddon, J. N. (2010) *Indonesian Reference Grammar 2nd Edition*
- Sugono, Dendy (2011) *Buku Praktis Bahasa Indonesia 2*. Jakarta: Kemendikbud.

インターネット

<http://adeku-bahasaku.blogspot.jp/2012/02/konjungsi-penggunaannya.html>

Wikipedia の Rumpun Bahasa Austronesia 「オーストロネシアの語族」

tekno.kompas.com

megapolitan.kompas.com